

(別紙2)

1 飼料用とうもろこしの適正な品種について

青森県飼料作物奨励品種一覧として、青森県ホームページで随時公表しているので参照すること。

青森県ホームページ>組織でさがす>農林水産部>畜産課>青森県飼料作物奨励品種について

URL https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/chikusan/shourei_2502.html

2 飼料用とうもろこしの栽植密度と播種量

(1) 品種の早晚性に応じた標準的な栽植密度

極早生種	早生種	中晩生種
8,000 本/10a	7,000 本/10a	6,000 本/10a

(2) 畦幅、株間と栽植密度

畦幅、株間から栽植密度を算出する場合は、以下の式を用いる。

$$10a \text{ 当り栽植密度 (本)} = 1,000 \text{ m}^2 \div [\text{畦幅 (m)} \times \text{株間 (m)}]$$

また、以下の表は標準的な栽植密度とするための畦幅と株間の例であるので参考にすること。

		(本/10a)		
株間 \ 畦幅		18 cm	21 cm	24 cm
66 cm		8,418	7,215	6,313
69 cm		8,051	6,901	6,039
72 cm		7,716	6,614	5,787
75 cm		7,407	6,349	5,556

(3) 播種量

播種量は、栽植密度から次のようにして算出する。品種によって種子の大きさが異なるため、購入する際に1kgあたりの種子粒数を確認すること。

$$\text{播種量 (kg/10a)} = \text{栽植密度 (本/10a)} \div \text{1 kg当りの種子粒数}$$